

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	令和7年度	施設番号	41 - 0015
-----	---------	-----------------	-------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和7年度)	改善計画 (令和7年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和8年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (令和 年 4月 30日時点)
中長期や単年度の目標管理の基準(値)／達成度を示すことについて	中長期計画並びにそれに対応した単年度の事業計画・報告書で主要な組織活動のPDCAが管理されている。そのなかで、目標管理は2024年度の進行管理表にて、職員確保の採用実績の報告はあるが、確保予定人数の基準の明示はなく、定着率アップについては離職状況の報告はあるものの目標定着率が示されていない。進行管理表における基準と達成度の見える化が期待される。	職員の必要人数、欠員数を明確にし、その人数を募集、補充していきます。その都度、必要数の何割が補充できたかを数値化していきます。新規採用の1年後に職員の人数が同じ人数であることを目標としていきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和9年3月ごろ)  具体的には以下のとおりです。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
事業所の多彩な魅力の発信にむけて、さらなる広報の充実について	事業内容は、ホームページやパンフレット及び事業所内の掲示にて発信されている。いずれも、利用者の活動に集中する姿や生活を楽しむ姿と大勢の笑顔により、事業を生き活きと伝えてる。しかし、事業所では現状よりもっと魅力が伝わる発信が必要であると認識されている。事業所の魅力は多彩で、動画での発信も視野に、パンフレットにはQRコード掲載等、広報の充実が期待される。	ホームページ、広報の担当を配置し、行事、イベント、日常の魅力がより具体的に伝わる写真を充実させていきます。また、動画による情報発信やSNSの利用も検討していきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和9年3月ごろ)	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
利用者のイラストやアート作品等は事業所のイメージを伝えるツールとしての活用について	利用者の年齢は幅広く、趣味も多彩です。余暇時間に描いたイラストやアート作品は、イベントのチラシや月の予定表に一部活用されている。作者にとっては、自分の作品が掲示されているのは何よりも嬉しく、意欲を高める力になるかと想像し、作品展示があれば、他の利用者の意欲を生む可能性もある。利用者が描いた作品やキャラクターが定着すれば、事業所のイメージを伝えるツールとするなど、今後のさらなる活用や展開が期待される。	利用者が描いたイラストや作品を、行事ポスターや月間予定などに積極的に活用していきます。作品を掲示する機会を増やすことで利用者の良い刺激に繋がるようにしていきます。事業所らしさが伝わる温かみのある広報づくりを進めていきます。	1 実施済み 2 実施予定 (令和9年3月ごろ)	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。